



りんご生産情報（7月号）

令和3年7月15日
JAつがる弘前
弘前北地区営農係

ふじの肥大は平年を上回る状況です。7月15日～8月15日は見直し摘果強化期間となります。最終着果量を意識して、「強く」スグリましょう！！

《 肥大状況 》

肥大状況は各品種とも、平年を上回る状況です。

（7月12日現在）

地点	つがる		ジョナ		王林		ふじ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
新和	5.8	5.5	5.9	5.4	5.2	5.0	5.1	4.7
鬼沢	6.2		5.5		5.5		5.0	
三和	6.0		6.2		5.4		5.3	
十腰内	5.6		5.4		5.0		4.9	
農協平均	5.9		5.8		5.2		5.0	
りんご研	6.1	5.6	-	-	-	-	5.4	4.9

《 見直し摘果 》 7/15～8/15 は見直し摘果強化期間！！

新梢の停止期以降は、肥大や果形など品質の良し悪しがはっきりしてきます。見直し摘果は、着果量を定める最後の作業となります。特に、葉とらず栽培では最終着果量を意識するようにしましょう。

収穫まで期間が短い「きおう」や「つがる」など早生種から優先して作業を進めましょう。

また、トキや王林などの黄色品種は、等階級向上の為、必ず見直し摘果を実施しましょう。

《 薬剤散布 》

前回との散布間隔が開き過ぎないように注意しましょう。

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	薬剤名及び混合順序 (収穫前日数)	倍数	1,000 ㎡ 当り薬量	防除上の注意
9 (500ℓ)	7月半ば (7月17日)	オキシンドー水和剤（14日前） フェニックスフロアブル（前日）	1,200倍 4,000倍	835g×1袋 250g×1袋	前年に褐斑病が発生した園地では、 トップジンM水和剤 1,500倍 も散布して下さい。
10 (500ℓ)	7月末 (8月1日)	ダイパワー水和剤（前日） バリアード顆粒水和剤（前日）	1,000倍 4,000倍	1kg×1袋 250g×1袋	
11 (500ℓ)	8月半ば (8月16日)	イカズチWDG（前日） ※殺ダニ剤（適用表参照） アリエッティC水和剤（前日）	1,500倍 800倍	333g×2袋 1.25kg×1袋	アリエッティCは最後に調合してください。
12 (500ℓ)	8月末 (8月31日)	サムコルフロアブル（前日） アリエッティC水和剤（前日）	5,000倍 800倍	200ml×1本 1.25kg×1袋	アリエッティCは最後に調合してください。

《 ハダニ対策 》

管内、リンゴハダニの発生が散見されますので、発生予察を行い適期散布に努めましょう。

発生予察を行う場合、ナミハダニは樹冠内部、リンゴハダニは目通りの高さの新梢中位葉を調べましょう。

散布目安は1葉当たり2個体以上、複数枚の葉に確認された頃に殺ダニ剤を散布しましょう。

薬剤名	ナミハダニ	リンゴハダニ	サビダニ	ボルドー混用	倍数	収穫前日数	効果発現程度	適要
コロマイト	○	○	○	○	1,000倍	前日	速い	
マイトコーネ	○				1,000倍	前日	遅い	
オマイト	○	○			750倍	3日	遅い	8月以降に使用する。